

新しい年を迎え、今年こそ「住まい・お部屋」をスッキリさせたい!と願いをかけた方もおられるのでは?

そこで今回は、無理なく「正確に」m(_ _)m 片付け上手になる収納法をご紹介します。

自分の「性格」に応じたかしこい収納スタイル法

片付けても、すぐにまたゴチャゴチャと部屋が散らかってしまうとお悩みの方に必見!4つのパターンから自分の収納性格を知り、性格に応じた収納スタイルに切り替えて、すっきり快適な部屋を実現しましょう。

TYPE

1

捨てられない物がたくさん、思い出だらけのため込みタイプ

どこに何があるかひと目でわかる集中型収納

まずは、物を減らす努力をしましょう。3年間一度も使わなかった衣類や靴は思い切って捨て、空き箱や紙袋も一定量を決めて、それ以上ためこまないこと。細々とした持ち物が多いのがこのタイプなので、中身が一目見てわかり、どこに何があるか見渡せる集中型収納を心がけましょう。



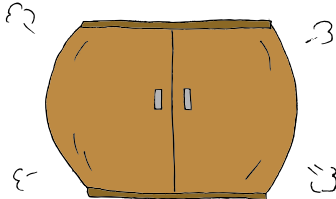
TYPE

2

見えない所に押し込んで、開かずの扉が増殖の詰め込みタイプ

必要な場所に必要な物が基本の分散収納

何でもかんでも押し込む癖をまずは改善。例えば、引き出しはトレイなどで仕切り、ハサミ、印鑑などどこに何を収納するか決めましょう。収納の基本は、使う場所に使う物を納めること。適当に物を押し込まず、玄関、洗面室、リビングなど、適材適所に分散収納するといいでしょ。



TYPE

3

出したら出しっ放しで気にしない、片付け苦手タイプ

回遊型動線にして部屋を移動しながら片づけ

どこにでもポンポンと物を置いてしまうタイプは、引き出しを活用して、おらかな気持ちで放り込むスタイルに。物の置き場所をきちんと決め、誰もが簡単に片付けられるようシステム化。玄関の近くにクローゼットを設けリビングに抜けられるなど部屋を移動しながら片付ける回遊型動線がおすすめです。



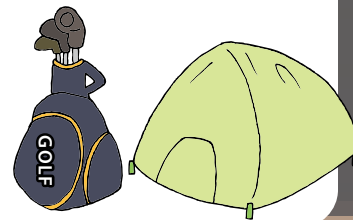
TYPE

4

キャンプ道具やゴルフ道具など、大物衝動買いタイプ

かさばるものは納戸&トランクルームへ

衝動買いの達人は、収納場所を考えて、買う前にじっくり検討。一つ買ったら一つ処分を。必ず買う前に商品の採寸と、収納方法(ダンボールのまま、重ねて、専門の収納箱に、カバーが必要など)を検討すること。アウトドアグッズなど汚れが付いている物は、靴を脱がずに入れる収納庫があると便利です。



fromバックナンバー

177号「収納のコツ」、180号「機能的な押し入れ利用術」、219号「玄関すっきり術」、224号「色彩・明るさ・収納のポイント」、239号「本と雑誌の収納術」、247号「テレビ、パソコン、これですっきり!!使える収納術」、259号「ちょっとした工夫でスッキリ見える!シンプル収納術」も合わせてご覧ください。